



人事管理の未来とは？

経営管理研究科
教授 木谷 宏（きたにひろし）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1474号室
Tel 082-251-9789
E-mail hkitani@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 人事管理論、ダイバーシティ・マネジメント
ワーク・ライフ・バランス

キーワード： 経営学、人的資源管理、ダイバーシティ、女性活躍推進、CSR（企業の社会的責任）

● 現在の研究について

大学時代（東京大学経済学部経済学科）における経済学および高橋彰先生のゼミでの開発経済、米国ビジネススクール（The George Washington Univ.）におけるビジネス理論、20年以上の企業実務（株式会社ニチレイ）におけるマーケティング、人事管理、経営企画がベースとなり、大学院博士後期課程（中央大学大学院総合政策研究科）では人的資源管理を研究テーマとした。中でも成果主義の導入と運用が組織にもたらす課題に着目し、複数の学会発表や論文執筆を行った（「企業における成果主義導入の実証的研究」など）。2008年に学界へ転じた後は、学習院大学経済経営研究所にて「ワーク・ライフ・バランス（WLB：仕事と生活の調和）指標」の開発に携わり、東京都など数十施設の調査研究を行い、WLBの意義と課題について論文、著作、講演、省庁委員会等を通じて社会へ発信した（「看護職員のワーク・ライフ・バランスと人事管理」など）。

最近では、企業の社会的責任（CSR）、公正な人事管理（成果主義）、多様な働き方（WLB）の関係に注目し、これらの連動が多様な人材を管理する上で不可欠であり、従来の人事管理の枠組みを社会視点へシフトする必要があることをテーマと定め、人的資源管理を社会の視点から再編する研究を行った。この内容を博士論文にまとめ、学位を取得した（「人的資源管理論の限界と「社会的報酬」に基づく人事管理の再構築－ポスト成果主義と人材多様性に向けて－」）。

● 今後進めていきたい研究について

現在は上記研究の集大成として、科学研究費助成事業「ワーク・ライフ・バランスを実現する企業支援システムと雇用システム」（基盤研究A 32606-04-1-3701-0001 研究代表者：脇坂明）に注力している。これは、①企業アンケート調査によりWLBを実現する企業の施策、制度、雇用システム、体制を総合的に捉え、相互の関連性を探る、②日本とWLB先進国における雇用管理や体制の違いをインタビュー調査にて解明する、③それらの結果を用いて企業が自社の現状を評価し、WLB推進のための計画・立案を可能とする企業支援システムを開発するものである。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

具体的には、企業支援システム開発グループの責任者として、「治療と仕事の両立指標」の開発に向けて厚生労働省労働基準局、広島県健康福祉局、労働者健康安全機構などとの連携を模索している。

● これまでの連携実績

厚生労働省 治療と職業生活の両立支援事業 実施委員会座長、柏市 柏市版事業仕分け委員会委員長、東京都 第四期東京都男女平等参画審議会委員、鳥取県 鳥取県政アドバイザースタッフ、中央職業能力開発協会 ビジネス・キャリア検定試験「人事・人材開発」問題作成委員会主査 ほか。